

九州大学理学部附属天草臨海実験所

2024年度 春期公開臨海実習（学部生対象）実施要領

単位互換制度に基づく公開臨海講座（「臨海実験Ⅰ」2単位）

1. 内容 沿岸海洋生態系の環境と生物多様性（基礎コース）

(1) 海洋環境の観察と生物の採集 (2) 海洋生物の多様性と分類

亜熱帯と温帯双方の環境的特長を有する天草近海にはきわめて豊富な海洋生物相が存在し、特に有明海の入り口に位置する天草下島では外洋環境と内湾環境に適応した双方の生物群を観察することができる。本実習は、天草下島の様々な沿岸環境において生物を採集・観察し、海洋生物の多様性に関する理解を深めることを目的とする。

- 予定
- ・潮間帯での採集（岩礁、転石、砂質干潟）
 - ・船舶による採集（プランクトン、ドレッジ）
 - ・海藻および動物の形態分類
 - ・イルカの行動観察

2. 期間 2025年3月10日(月) 現地集合、ガイダンス 16:00～
3月11～16日 実習
3月17日(月) 講評、後かたづけ、解散（正午頃を予定）

3. 授業科目 臨海実験Ⅰ（2単位 ただし公立・私立大学学生の場合、単位の取り扱いは所属大学に確認すること、受講証発行可）

4. 対象 学部生（理系・文系、国立・公立・私立は問わない）、大学院生も可

5. 定員 7名程度

6. 所要経費 開催地までの交通費 : 実費自己負担
実習費（宿泊費・食費、7泊8日分） : 18,000円（現地払）
授業料 : 徴収しない

7. 場所・連絡先

九州大学理学部附属天草臨海実験所
〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡 2231
TEL : 0969-35-0003 FAX : 0969-35-2413
E-mail: arakaki@ambl-ku.jp（新垣 誠司）
<http://ambl-ku.jp/>（天草臨海実験所ホームページ）

8. 担当教員 新垣 誠司 九州大学大学院理学研究院・准教授
NiNiWin 九州大学大学院理学研究院・助教

9. 参加申込

下記必要書類を「九州大学理学部等事務部教務課教務係」宛に送付すること。

2024年12月17日(火) 必着

定員を超えた場合は抽選とする。受講の可否については、所属大学宛に結果を連絡すると共に、採用学生には直接メールにて連絡する。なお、締め切り後であっても定員に余裕があれば、受入可能な場合もあるので、天草臨海実験所に問い合わせること。

10. 提出必要書類

- 1) 特別聴講学生願書 (連絡用にメールアドレスを明記すること)
- 2) 学部長推薦書
- 3) 成績証明書
- 4) 健康診断書
- 5) 学生教育研究災害傷害保険等加入証明

書類1)と2)の様式は、所属大学事務部から受領すること。または天草臨海実験所にメールで問い合わせの上、受領すること。

11. 担当事務部 (書類提出先)

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 ウエスト1号館B棟3階306
九州大学理学部等事務部教務課教務係
TEL: 092-802-4015 FAX: 092-802-4016

12. 申込後の取消

天草臨海実験所へ連絡すること。直前の場合、キャンセル料が発生する場合があります。

13. 備考

* 天草臨海実験所へのアクセス

- ・熊本市内(バス・120-140分)→本渡市(バス・60分)→富岡港(徒歩10分)
 - ・長崎市内(バス・30分)→茂木港(高速艇・40分)→富岡港(徒歩10分)
 - ・福岡空港(天草エアライン・35分)→本渡市(バス・60分)→富岡港(徒歩10分)
- ほかにも複数ルート有、詳細はホームページを参照

* 参加者への連絡事項

- (1) スケッチ用にケント紙(約10枚、サイズは自由)と筆記用具を持参
- (2) 水筒(マイボトル)持参
- (3) 磯採集に出るので、滑りにくく海水に濡れても良い運動靴を持参
(サンダルは不可。長靴または胴長があるとなお良い、一部貸出用あり)
- (4) 帽子等、野外作業に適した服装を各自準備
- (5) 天候その他の都合により、実習内容が変更になる場合がある
- (6) 石けん・シャンプー・洗濯洗剤等は宿舎に常備。ねまき・タオルは各自用意すること
- (7) 荷物がある人は事前に実験所宛に発送しても良い(ただし事前に連絡すること)
- (8) 食品アレルギーなど特段の配慮を必要とする事項がある人は事前に連絡すること